

市古ひろかずは実現します

区役所移転・鷺沼駅前再開発 3つの約束



第1の約束

宮前区役所の移転は撤回します

現区役所は区の中に位置しています。鷺沼に移転すれば区民の7割が不便になります。移転する理由がありません。

現区役所はあと25年も使えます。移転費用を155億円も使って移転するのは税金の無駄遣いです。

現区役所は、警察署・消防署が近接しており、災害時には連携して対策がとれます。

第2の約束

鷺沼駅前再開発は凍結・見直し

鷺沼駅前再開発事業は、準備組合（東急）と川崎市が一体で進められており、住民の声が反映されていません。住民無視の再開発は許されません。

鷺沼再開発には100億円もの巨額の税金が使われます。川崎市が準備組合と協議して、住民の声を反映させるのは当然の責務です。

タワマンの低層化、緑とゆとりある広場の設置、風害・交通渋滞のない計画に改めさせます。

第3の約束

市民の声を生かしたまちづくり

現区役所を存続し、鷺沼に区役所支所を設置します。

有馬や野川の住民から、現在の区役所に行くのには交通が不便という声が寄せられています。鷺沼に支所をつくることで行き届いた行政サービスを実現します。

現在の図書館・市民館に加え、鷺沼にもう一つの図書館・市民館をつくります

23万都市・宮前区には市民館・図書館が一つしかないのは他の市・区と比べても少なすぎます。もう一つの図書館・市民館は当然の要求です。

一極集中でなく身近なところに文化交流施設をつくります。

向丘出張所の機能を拡充し、野川、菅生に市民館・図書館的機能を持つ施設をつくります。